

Proofpoint Content Capture (Microsoft Teams 用)

Microsoft Teams のデジタルコミュニケーションをキャプチャ

規制やコーポレートガバナンスの要件に準拠するためには、従業員がおこなっているコミュニケーションのコンテンツを収集し、保持する必要があります。プルーフポイントを使用すると、Microsoft Teams などのコンテンツソースからデータを容易に収集し、管理、維持することができます。このソリューションでは、Microsoft の API を介してコンテンツを収集し、e-Discovery、コンプライアンス、監査用のデータストアやダウンストリームサービスに配信します。これは、Microsoft によってサポートされているコンテンツ収集方法です。

前提条件

Change Notification API を使用する際に、特別なライセンスが必要になる場合があります。詳細については、Microsoft の営業担当にご確認ください。

収集対象

Content Capture は、以下のタイプの Microsoft Teams アクティビティを収集します。

- Teams チャンネル
- チャット
- 会議のチャット

これらのアクティビティ グループについて、次のタイプのコンテンツを収集します。

- 投稿（フォーマット情報を含む）
- 共有
- 返信（チャンネルのみ）
- 絵文字
- 画像
- アプリからの投稿

- チャンネルおよびチャットに投稿されたファイル
- 編集と削除
- スレッド

コンテンツの取り扱い

Content Capture は、収集した Teams アクティビティの各部分をメールの形式に変換します。さらに、スレッドを有効にし、投稿などのコンテキストを含むようにフォーマットします。このコンテンツはユーザーに帰属します。これらのコンテンツは、データストアまたはダウンストリームサービスにメールで送信されます。

サマリー

プルーフポイントを使用すると、Microsoft Teams のコンテンツを簡単に収集できます。これは Win-Win ソリューションです。従業員は共同作業やコミュニケーションを自由に行うことができます。一方で管理側は、コンプライアンスリスクを低減し、法規制を遵守できます。

詳細

詳細は [proofpoint.com/jp](https://www.proofpoint.com/jp) でご確認ください。

プルーフポイント | Proofpoint について

Proofpoint, Inc. (NASDAQ:PFPT) は、サイバーセキュリティのグローバル リーディング カンパニーです。組織の最大の資産でもあり、同時に最大のリスクともなりえる「人」を守ることに焦点をあてています。プルーフポイントは、クラウドベースの統合ソリューションによって、世界中の企業が標的型攻撃などのサイバー攻撃からデータを守り、そしてそれぞれのユーザーがサイバー攻撃に対してさらに強力な対処能力を持てるよう支援しています。また、Fortune 1000 の過半数を超える企業などさまざまな規模の企業が、プルーフポイントのソリューションを利用しており、メールやクラウド、ソーシャルメディア、Web 関連のセキュリティのリスクおよびコンプライアンスのリスクを低減するよう支援しています。詳細は www.proofpoint.com/jp にてご確認ください。

©Proofpoint, Inc. Proofpoint は、米国およびその他の国における Proofpoint, Inc. の商標です。記載されているその他すべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。